

自己申告によるCOI報告書

著者全員氏名(コンマで区切ってご記載ください):

題名: _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去 1 年間以内での発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名:企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間 100 万円以上	有・無	(記載例、日本太郎:大西洋製薬 富士山高志:ABC 製薬)
② 株式の利益 1つの企業から年間 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間 100 万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上	有・無	

<p>⑥ 研究費・助成金などの総額</p> <p>1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上</p>	有・無	
<p>⑦ 奨学(奨励)寄付などの総額</p> <p>1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上</p>	有・無	
<p>⑧ 企業などが提供する寄付講座</p> <p>(企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)</p>	有・無	
<p>⑨ 旅費、贈答品などの受領</p> <p>1つの企業・団体から年間5万円以上</p>	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

Corresponding author (署名) _____ (印)

※Corresponding author 各位

投稿論文が採択され雑誌に掲載された際には、申告された COI 状態について、論文末尾、謝辞または引用文献の前に掲載いたします。開示すべき COI 状態がない場合にも、その旨を同部分に掲載いたします。

例1:本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業・組織や団体がある場合

○開示すべき COI 状態がある者

1 著者名〇〇〇〇 : 研究費・助成金:〇〇製薬、奨学寄付金:〇〇製薬、寄付講座:〇〇製薬

2 著者名〇〇〇〇 : 研究費・助成金:〇〇製薬、奨学寄付金:〇〇製薬

○開示すべき COI 状態がない者

3 著者名 : 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、

本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。

例2：著者全員に本論文に関連し、開示すべき COI 状態がない場合

著者全員に本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。